

<参考資料>

3号機使用済燃料プールゲートの現場状況確認結果について

2015年4月6日
東京電力株式会社



東京電力

1. 調査概要

3号機使用済燃料取り出しに係わる作業において、使用済燃料プール（以下、SFP）に水没している燃料交換機（以下、FHM）の一部がSFPゲートに接触している可能性があることが確認された。（2015年3月26日お知らせ済み）

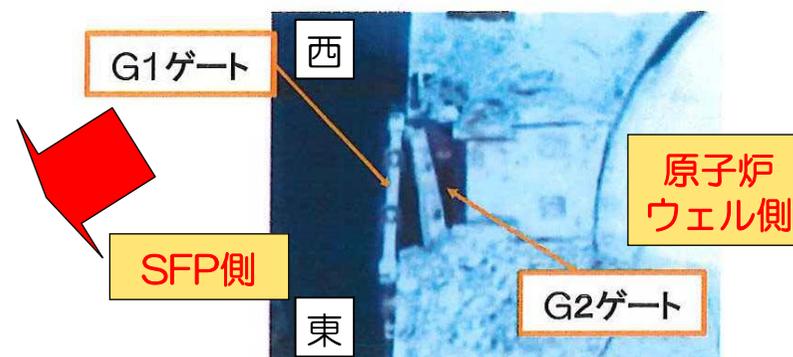
このため、SFPゲートの調査を実施した。

■調査概要

- SFP内に水没しているFHMの撤去作業を実施するため、FHMとG1ゲートとの接触状況の確認を実施した。
- SFPのG1ゲートについて、ゲートの変形有無および取り付け状態の確認を実施した。
- 調査は、2015年3月27日～4月2日に行った。
（現場確認：2015年3月27日および4月2日。あわせて映像記録等評価）



G1ゲート拡大



3号機プールゲート状態

2. 現場状況確認結果（気中確認）

- SFP内の瓦礫撤去作業の監視用カメラを用いて、気中および水中からG1ゲート他の目視を行った結果、以下のことが確認された。
 - ゲート本体
カメラにより可能な範囲を確認した結果、G1ゲートは、有意な変形が確認されなかった。また、G2ゲートは、一部変形していた。
 - G1ゲートパッキン部
G1ゲートパッキン部を気中より確認した結果、東側／西側ともに2重パッキンシル部が2山共にSFP壁面に接触し、パッキンが正常に押しつけられている状況であった。（参考へ）



プラント運転時のプールゲート状態図

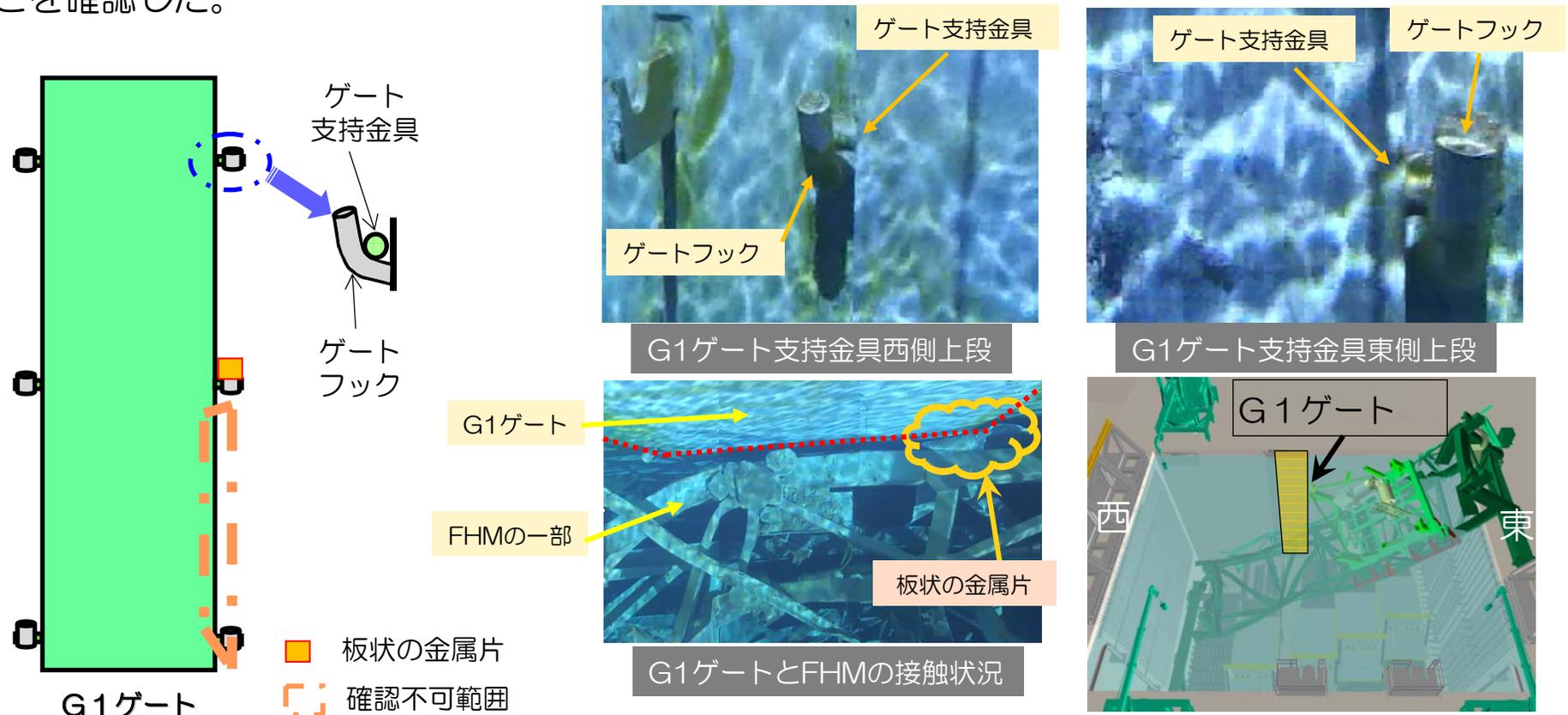
2. 現場状況確認結果（水中確認）

➤ G1ゲート支持金具

G1ゲート支持金具部を確認した結果、全6箇所 of 支持金具のうち、5箇所がゲートフックに保持されていることを確認した。なお、1箇所 of 支持金具（東側下段部）については、FHMの一部が視野障害となり確認できなかった。

➤ FHMとG1ゲートの干渉

FHMとG1ゲートとの接触状況を確認した結果、FHMとG1ゲートは接触していないことを確認した。ただし、ゲートフック（東側中段部）に板状の金属片が引っかかっていることを確認した。



3. 調査結果まとめおよび今後の対応について

■ 調査結果まとめ

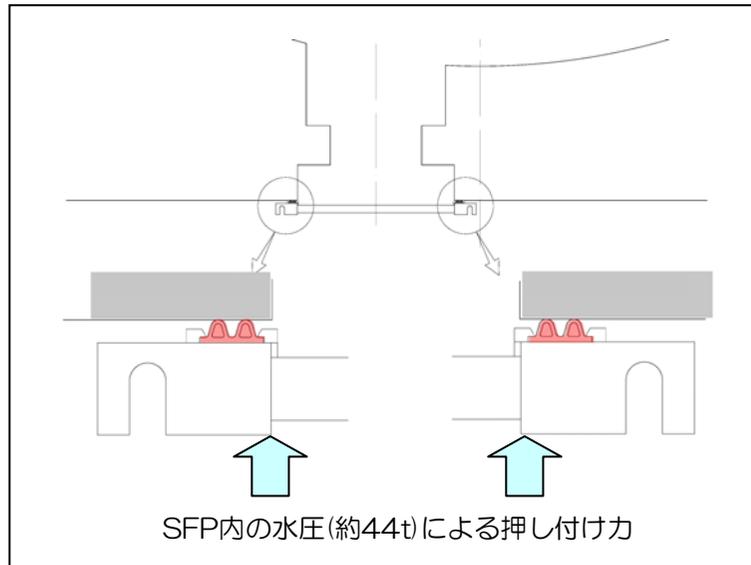
- G1ゲートには有意な変形がないことを確認した。また、シール性能に影響を及ぼすずれは確認されなかった。
- G1ゲートとFHMとの接触状況について、接触がないことを確認した。
- また、SF6P水位については、有意な水位低下がないことを確認した。

■ 今後の対応

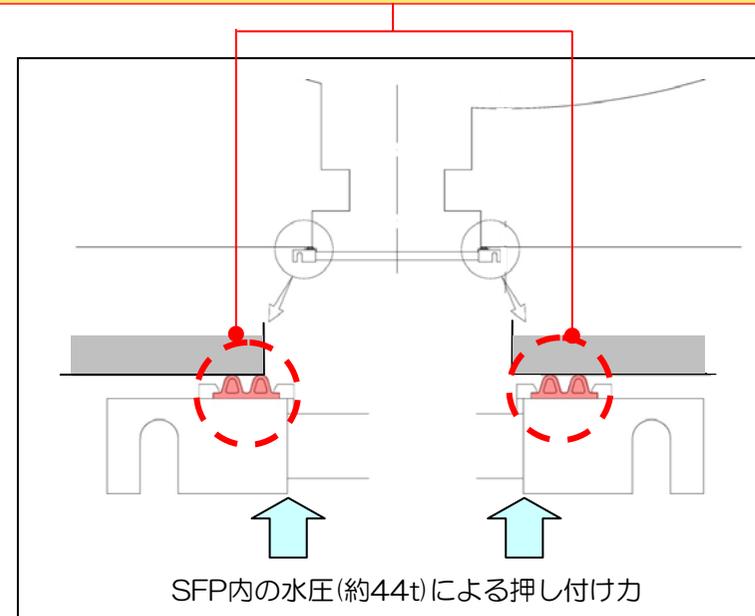
- 今回の結果も踏まえつつ、FHM本体の撤去計画を検討する。

(参考) G1ゲートの取付け状態

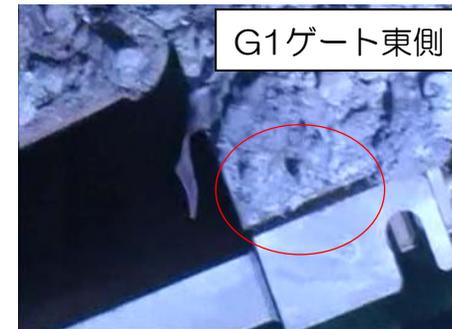
東側／西側ともに2重パッキンシール部が2山共にプール壁面に接触し、パッキンが正常に押しつけられていることを確認した。



正常な取付状態図



現状の取付状態図



現状の写真